

・3つの検証報告書について

桜：全く読んでいない。自分は理系ではなく専門外なので、規制委員会の意見に任せるしかないと思っている。

植：各報告書が出るたびに新聞等で概要が報道されてきているが。

桜：総括委員会が開かれていない。早めに結論を出すべきと考えるが、知事と委員長の考えが一致しない。知事が委員長を変えるかもしれないが規制委員会の結論もまだ出ていない。知事の姿勢が慎重なものもわかる。

植：知事がどう結論付けるのか全く見えてこない。

桜：再稼働しても新潟県にメリットがないから意欲的でないのかもしれないが、私としては安全性が確認できれば再稼働してほしい。安全性の確認はどこまでやれば安全なのかは明確でないが、エネルギーが大変なので国は再稼働させたいはずだ。

・停止中と稼働中の事故進展の比較について（2017.10.4 東電提出データを提示）

桜：知らなかった。

植：これは冷やせなくなったらどうなるかという東電が出したシミュレーション。

桜：冷やす方法が3重4重に作ってある。技術があるのかと言う点と、それを人間が管理する能力はあるのかという二つの点が焦点となる。今後を見極めたい。原発の他にも危険はある。東電をどう見極めるか。日本の技術は高いし、原発は世界でも稼働している。最終的には脱原発すべきだが、供給が不安定な再エネだけでは無理。4分の1も行っていない。

・3月6日の県議会での最大会派からの慎重意見について（「今の東電が再稼働することは受け入れがたい」など）

桜：会派としての意見だが、全員の意見を聞いて出した結論ではない。このような結論に至った経過の説明もない。東電は社会の信頼を得られていないが、東電の経営管理能力について分析できていないので何とも言えない。

植：東電の不祥事が延々と続いているが、東電だけが特別な会社ということではないと思う。

・避難計画について（3つの検証についてと重なる部分あり）

桜：詳しく分析していないのでわからないが、チェルノブイリ級の事故なら大きな災害になる。福島で避難があったが、どこまでの避難が必要だったか明確ではない。

植：避難させなくても良かった地域があったということ？

桜：

そういうこと。計画はすべきだが、みな我先に逃げることになるだろう。屋内退避は無理だと思う。みな逃げ出し、渋滞になる。道路を増やすしかない。

・再エネ促進について

桜：メガソーラーは大反対。

植：なぜ？環境破壊等あるので私も反対だが。

桜：パネルの処理にお金がかかるし、廃棄物の有毒性も問題だ。ほとんどが中国製なので中国にお金を落としたくない。環境の面で山には作れないので平地が必要だがその広さが無い。

植：メガソーラー以外は？

桜：水力は現状すでに満杯。小水力は個人的な仕様の発電量にしかない。風力は海上に作らないとダメなのでコストも高い。海上ではない上越市の風力発電は全部だめになった。再エネ全体への研究に力を注ぐべきと考える。再エネ賦課金がものすごいので、このままでは経済がだめになる。

植：日本は自然エネルギーのポテンシャルが高いと聞くが。

桜：再エネでやれるだけやったらいいが、再エネだけでやれるポテンシャルはない。山の管理を進めるべき。日本人の暮らしが変わったから難しい。

植：どう変わった？

桜：自給自足の自然農法の農業から工業へ。そしてオール電化などの電力を大量消費する生活へ。

植：CO2 温暖化については？

桜：CO2 だけで温暖化しているとは思わない。温暖化ビジネスだと思っている。ガス・石油使いながら徐々に減らしていけばいい。

植：再エネ促進のカギは蓄電池だと思う。

桜：蓄電池の開発はすべき。エネルギーは地産地消へ向かうべき。

・ 柏崎再稼働について

桜：頑張って再稼働できるようにしてほしい。安全安心が守られるようになって。

植：何をもちて安全安心？

桜：私だけでは判断できない。規制委員と知事の判断を仰ぐ。

植：なぜ再稼働させたい？

桜：エネルギー対策の一環として。東電はそれほど悪くないと思っている。安くて安定した電力を。

(その他)

桜：メタンハイドレートが進展していない。どうやらパイプで運んで遠くへ届けることは不経済らしく、こじんまりと地域で使うしかないらしい。次のエネルギー開発のためにお金をつぎ込んでほしい。

植：それは再エネではなく？

桜：再エネだけではやれない。シェールガス、核融合、宇宙の光など。地球を破滅させないように安全でクリーンなエネルギーを。

植：原発がダメな理由は？

桜：核のゴミの問題。なるべく安全安心がいい。ただし甲状腺がんなどがクローズアップされたが、サンプルを取れば原発事故がなくてもたくさんみつかると。放射線は自然にあるもの。正しく恐れるべきもの。

植：放射線による健康被害には閾値がない。あびればあびただけ細胞が破壊され、あびなければあびないだけ細胞の破壊を減らせる。できるだけあびないほうがいい。

桜：日本の放射能の基準は厳しすぎるとおもうが。

植：福島事故前は1ミリシーベルトだった基準が、事故後に20ミリシーベルトになった。

桜：20ミリシーベルトになっても死者が出ていない。

植：福島県民に直接聞くと、事故前になかった健康被害が出ているという話をされる。

桜：原因は複数あると思う。放射能に怯えて暮らすことの精神的負担は大きい。